

2020 年度事業報告

2021 年 3 月 31 日
特定非営利活動法人
市民 ZOO ネットワーク

1. 環境エンリッチメント推進事業

●エンリッチメント大賞

第 19 回エンリッチメント大賞の企画運営を実施した。実施経過は以下のとおり。

- ・後援：(公社) 日本動物園水族館協会
- ・募集期間：2020 年 4 月 1 日～6 月 14 日
- ・応募結果：応募総数 28 通 (21 件の取り組みに対し)
- ・審査方法：下記 5 名の有識者による審査委員会を構成した。書面による一次審査を通過した受賞候補に対して、事務局による現地調査をおこなったうえで、審査委員会を開催 (9 月 22 日) して二次審査をおこない受賞者を決定した。
- ・審査委員会：岩田 恵里 氏 (岡山理科大学獣医学部教授)
川端 裕人 氏 (作家)
幸島 司郎 氏 (京都大学野生動物研究センター教授)
佐藤 衆介 氏 (東北大学名誉教授／八ヶ岳中央農業実践大学校畜産部長)
本田 公夫 氏 (元 Wildlife Conservation Society 展示グラフィックアーツ部門スタジオマネージャー) ※五十音順
- ・審査結果：5 件
 - ▼大賞 21 世紀のゾウ飼育の最低条件を寒冷地で実現させる試み (札幌市円山動物園)
 - ▼敢闘賞 インドゾウに対する QOL 向上の取り組み (横浜市立金沢動物園)
 - ▼グッドアイデア賞 ミヤコタナゴの人工産卵床の開発および展示水槽への設置 (相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら)
 - ▼技術賞 地下伏流水を再現した飼育設備によるマホロバサンショウウオの繁殖 (世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ)
 - ▼奨励賞 高齢ラクダへの取り組み (大阪市天王寺動物園)

●エンリッチメントに係るコンサルティング

動物園等の施設を対象としたコンサルティングは、特に実施しなかった。

●エンリッチメントに係る調査研究、情報提供

エンリッチメントに関する情報収集や、マスコミ等への情報提供を随時実施した。

●エンリッチメント大賞 2020 表彰式・受賞者講演会

「エンリッチメント大賞 2020 表彰式・受賞者講演会」を実施した。詳細は以下のとおり。

・日時：2020年12月5日（土） 13：30～16：30

・方式：オンライン（YouTube 配信）

・主催：NPO 法人 市民 ZOO ネットワーク

エンリッチメント大賞 2020 表彰式・受賞者講演会 実行委員会

・プログラム

－開会挨拶：川端裕人さん（作家・エンリッチメント大賞審査委員）

－概要説明

－審査委員講評・記念撮影

－受賞者記念講演：札幌市円山動物園、横浜市立金沢動物園、相模川ふれあい科学館、世界淡水魚園水族館、大阪市天王寺動物園

－パネルディスカッション

・特別企画など

一次審査通過の取り組みのポスター発表の特設ページを開設し、それらの取り組みの PR 動画も上映した。また、オンライン決裁型の寄付ページを開設し、寄付者には 2021 年のオリジナルカレンダー（画像）をダウンロードできるようにした。

※実行委員会について：エンリッチメント大賞スタッフグループを中心に実行委員を務めたほか、当日ボランティアなども募り、約 15 名で実行委員会を組織した。

2. 動物園等に関する調査研究事業

●動物園等に関する調査・研究

動物園関連情報の収集・公開や情報提供をおこなった。

- ・動物園関係書籍、パンフレット、会誌、論文等各種の資料を収集
- ・WEB サイトや Facebook での動物園や研究会情報等の提供

●動物園等に係る各種協力・助言

動物園等の施設を対象とした協力や助言は、特に実施しなかった。

●各種団体との連携

動物園関係のイベントや研究会・出版その他の情報について、広報協力等による連携をおこなった。

3. 動物園等に関する普及啓発事業

●セミナー、勉強会、ワークショップ

コロナ禍により、セミナー等は開催できなかった。

●情報発信

1) ニュースレター

- ・ニュースレターを 2 回（第 49 号、50 号）発行した。

- ・第 49 号発行（2020 年 4 月）（特集その 1：エンリッチメント大賞 2019 表彰式・受賞者講演会開催報告、その 2：那須どうぶつ王国／神戸どうぶつ王国園長佐藤哲也さんに聞く 日本の動物園・水族館が目指す「保全」と「福祉」）
- ・第 50 号発行（2020 年 10 月）（特集その 1：発表！エンリッチメント大賞 2020、その 2：ニューズレター 50 号のあゆみ、その 3：コロナ禍の動物園・水族館）
- ・以上を市民 ZOO ネットワーク正会員およびサポーター（正会員 21 名、サポーター 206 名、2021 年 3 月 31 日時点）、全国の主要な動物園・水族館（約 170 園館）、その他関係者に送付した。

2) メールニュース

- ・電子メール版を月 1 回配信した

3) WEB サイト／Facebook ページ

- ・トピックス、動物園関連研究会情報など随時更新し、情報提供をおこなった。

4) 取材対応等

動物園等に係る取材に対応した。

5) その他

新規の著作物発行等は、特になかった。

●講演

2020 年度は特に実施しなかった。

4. 人材育成事業

動物園等に関心を有する学生等に対して適宜情報提供等をおこなった。なお、研究会等への参加にあたっての交通費補助はコロナ禍により実施できなかった。